

## 気象学者のためのロシア語入門 (II)

磯野 謙 治

### 第3章 ロシア語の品詞

本章ではロシア語の品詞について概観する。詳細に関しては、次章以後で次第に説明するが、英仏独語とロシア語の差異或は類似点の大略を知ることはロシア語の理解を速めるものと思われるので、特にこの点に重点をおいて説明することとする。

1. 名詞 ロシア語の名詞にはドイツ語と同様に、男性、中性、女性の三性の区別がある。ロシア語には冠詞がない。性は名詞の単数主格の語尾により判別される即ち

第1表

性	単数主格語尾
男性	硬子音, ь, й
女性	а, я, ь
中性	о, е, мя

注意(1) 人間、動物を表す名詞の大部分の性はその人間動物の性と一致する。少数の例外がある。

(2) а で終る名詞は女性であるが、少数例外として мужчина man の様に男性のものがある。

(3) я に終るものにも少数の例外として дядя uncle (男性) がある。

(4) ь に終るものには男性と女性があるが、次の様に覚えると良い。

(a) жь, чь, шь, щь は女性 (例) ночь night, вещь 物 (thing)

(b) сть 終るほとんど全部が女性 (例外) гость 客, 男性)

(例) 男性 стол table, дом, house, ветер wind  
дождь rain,

女性 комната room, роса dew, депрессия  
depression, земля earth, фамилия

\* я は文章の始めのときのみ大文字。

\*\* “あなた”と言う丁寧な言い方では独語で Sie を用いる様に вы を用いる。また丁ちような書面では вы は文章の途中でも大文字でかく。

family, ось axis, ночь night, влажность humidity.

中性 небо sky, слово word, место place  
образование formation, распределение distribution, имя name, знамя 旗, время time

〔名詞の格変化〕 名詞は数及び格によって語尾が変化する。数には単数と複数がある。単数及び複数にはそれぞれ次の6つの格がある。

ドイツ語

主格 (……が, ……は) → 第一格 (Nominativ)

生格 (……の) → 第二格 (Genetiv)

与格 (……に, ……へ) → 第三格 (Dativ)

対格 (……を) → 第四格 (Akkusativ)

造格 (……にて, ……を以て)

前置格 (前置詞の後に来る)

また名詞には活動体と不活動体があり、活動体は人、動物を言い、これ以外のものを不活動体という。

студент student, слон 象 は活動体で、

облако cloud, роза rose は不活動体である。

この区別は格変化のとき重要である。(第2表註を参照) 名詞の格変化を表にすれば第2表のようになる。詳細については後にのべる。ここには語尾のみを示してあるが、名詞は格変化に際し力点の位置の変るものや、語尾の前の母音が除かれるもの、その他例外がある。

また、名詞の語尾に関しても正字法の規則によって、喉音 (г, к, х) の後には ы を書くことができないから第一式男性硬変化の複数主格の後尾は и となる。

(例) ученик 生徒の複主は ученики となる。

上顎音 (ч, ч, ш, щ) の場合男性変化にはその後の ы, я はそれぞれ у, а となる。

(例) товарищ 同志, месяц month,

2. 代名詞 人称代名詞には次のものがある。

単数 я\* I, ты\*\* you (独語の du), он he, она she, оно it они they.

複数 мы we, вы\*\* you (独語の sie),

人称代名詞は格変化をする。これについては後に

第2表 名詞の格変化

	硬 変 化			軟 変 化				
	第一式男性	第一式中性	第二式女性	第一式男性	第一式中性	第二式女性	第三式女性	第四式中性
主 格	硬子音	-o	a	-й, ь	-e	-я	-ь	-мя
生 格	-а	-а	ы	-я	-я	-и	-и	-меня
与 格	-у	-у	е	-ю	-ю	-е	-и	-мени
对 格	主又は生	-o	у	主又は生	-e	-ю	-ь	-мя
造 格	ом	-ом	-ой(-ою)*	-ем	-ем	-ей(-ею)*	-ью	-менем
前 置 格	-е	-е	-е	-е	-е	-е	-и	-мени
主 格	-ы	-а	-ы	-и, -и	-я	-и	-и	-мена
生 格	-ов	硬子音	硬 子 音	-ов, ей	-ей	-ь	-ей	-мен
与 格	-ам	-ам	-ам	-ям	-ям	-ям	-ям	-менам
对 格	主又は生	-а	主 又 は 生	主又は生	-я	主 又 は 生	主又は生	-мена
造 格	-ами	-ами	-ами	-ями	-ями	-ями	-ями	-менами
前 置 格	-ах	-ах	-ах	-ях	-ях	-ях	-ях	-менах

\* 現在では ой, ей を用いることが多い。

\*\* 上表中生又は主となっているものは不活動体では主格と同じ、活動体では生格と同じであることを示す。

述べる。

指示代名詞には это (this), тот (that) があり、数及び格により変化する。漠然と it という様な場合には夫々の中性形 это 及び то を用いる。

疑問代名詞には кто who, что [что] what (発音) とがある。いずれも格変化をする。

物主代名詞格 мой my, твой you (独 dein), наш our, ваш your, свой 自分のは性、数、格の変化をするが、第三人称物主代名詞 (его ([его́] と発音) his, её her, их their) は変化しない。

定代名詞 весь (すべての), сам (自身), самый は数、性、格の変化をする。

代名詞にもこの外のものがあるがこれについては後に説明する。

3. 形容詞 形容詞には完全語尾と簡単語尾がある。完全語尾はその形容詞が修飾する名詞の性、数、格に応じて変化する。辞書には完全語尾男性主格の形が出ている。その語尾には -ый, ой, ий がある。

例 добрый человек (a) good man  
сырой воздух damp air  
Тихий Дон 静かなドン(小説名)

何れも男性単数

簡単語尾は主として客語として用いられる。数及び性によって変化する。たとえば добрый good は男性単数では добр となる。英語で The man is good の good の場合に、簡略語尾が用いられ

る。詳細は後に述べる。

4. 副 詞 ロシア語の副詞の大部分は他の品詞、すなわち形容詞、名詞、動詞から転化したものである。

сильны strong が副詞になり сильно strongly, лето summer が転化し副詞 летом in summer となった。形容詞から変化したものには -о で終るものが多い。

例 хорошо 良く, медленно slowly.

副詞は変化しない。

疑問副詞 где where, куда どこへ, откуда どこから, когда when, как how, сколько how much 等も変化しない。

5. 動 詞 大多数の動詞の不定法は語尾 ть をもち、その前に母音をもつ。例 читать. read. ロシア語の動詞に於いて英、独、仏語にない重要なものは体 (вид) である。ロシア語動詞の殆どすべての動詞は同一の意義で二通りの形。すなわち不完了体、完了体をもつ。たとえば、「書く」という動詞には、不完了体 писать と完了体 прописать がある。完了体と不完了体は上述の様に語根が同じで接頭語或は語尾によって区別されるものが大多数であるが、また「take」を意味する。不完了体 брать と完了体 взять の様に全く語根を異にするものがある。従って各語によって記憶する必要がある。

不完了体は動作または状態自身を示し、継続及び反覆を示す。完了体は動作の始まったことあるいは終わったこ

とを示す。

特に動詞の変化に関して重要なことは 不完了体は、過去、現在、未来の三つの時相を有し、完了体は未来と過去の二つの時相のみを有することである。不完了体の現在と完了体の未来は人称によって変化する。過去は両体共に性によって変化する。

辞書には不完了体の不定法が見出しとして書かれ、それに続いて完了体が示されている場合が多い。また完了体不定法を引けばこれに対応する不完了体が出ていて、その意味を知るためには、これを引き直す必要がある場合が多い。

規則動詞の過去は性数によって変化する。(不完了体、完了体ともに)

читать 読む			говорить 話す
単数	男性	он чит <u>а</u> л	говори <u>л</u>
	女性	она чит <u>а</u> ла	говори <u>ла</u>
	中性	оно чит <u>а</u> ло	говори <u>ло</u>
複数	они чит <u>а</u> ли	говори <u>ли</u>	

すなわち不定法語尾 **ть** を除いて **-л, ла, ло, ли** をつける。

規則動詞の不完了体の現在及び完了体の未来は人称変化をする(ドイツ語動詞現在の人称変化を参照)

これには2種の変化形式、第一式及び第二式がある。

**читать** (不完了体) は第一式に属し、**говорить** (不完了体) は第二式に属する。

第一式動詞では語尾 **ть** を取り去り、上記の人称語尾をつけるが、第二式動詞では **ть** と共にその前の母音を

取り去って(**говори́ть** の場合には **-ить** を取り去る)残りの部分(これを現在語幹とよぶ)に人称語尾を付ける。

動詞(不完了体)現在  
(或は完了体未来) の人称変化

第一式		第二式	
単数	(1) я чита <u>ю</u>	я	говори <u>ю</u>
	(2) ты чита <u>ешь</u>	ты	говори <u>шь</u>
	(3) он(она, оно) чита <u>ет</u>	он(она, оно)	говори <u>т</u>
複数	(1) мы чита <u>ем</u>	мы	говори <u>м</u>
	(2) вы чита <u>ете</u>	вы	говори <u>те</u>
	(3) они чита <u>ют</u>	они	говори <u>ят</u>

その他、変化に関する注意に就いては後に述べる。

不完了体の未来は動詞の不定法の前に英語の **be** 動詞に当る **быть** の未来形をつけ、これを人称変化させる。

なお **быть** **be** は不規則変化動詞であって、現在形は **есть** (変化なし) でその未来は次の人称変化をする。

**быть** の未来

単数	(1) я буду	複数	(1) мы будем
	(2) ты будешь		(2) вы будете
	(3) он будет		(3) они будут

規則動詞は上述の様な変化をするが、動詞には不規則な変化をするものも多い。英、独、仏語などと同様に、極めて普通に用いられる動詞に不規則な変化をするものが多い。また動詞を形容詞的、副詞的に用いる場合の形すなわち形動詞、副動詞といわれるものがある。これ等については後述する。

この外の品詞として前置詞、接続詞、間投詞等の品詞があるが、これ等に就いても、その都度説明することとする。

前号正誤表

前号には誤植が多かったのでそのうち重要なものをあげる。

頁	行	誤	正
25	右 6	子音の発声	子音の発音
25	右下から14	щ	ш
26	左 3	母音が軟子音	子音が軟子音
26	左 4	дядя́	дядя
26	左19	тут here	тут there
26	左下から8	moscow	Moscow
27	右 6	капеля	капля